授業科目	＊看護総合演習(溝部)					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	4	開講時期	通年
担当教員	溝部　昌子						
授業概要	看護実践及び専門領域上の自己の課題を探求するために、主体的に既習の知識・技術の統合を図りながら、課題への適切な介入の方法を討議・検討し、実習計画を立案する。看護総合実習での成果を基に、レポートを作成し、実習における実践を考察する。発表要約を作成し、グループ間で発表し、意見交換を行う。（看護総合演習は看護総合実習の事前事後演習として位置づける） 授業は専門領域における実務家教員が各自グループメンバーの課題を踏まえ演習を進める。						
授業形態	ゼミごと（6-7名の小グループ）で運営する。担当教員と調整しながら学生たちが主体的に学習活動を展開する。			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 関心ある領域における知識・技術を深め、自己の課題について考えることができる。 2. 自己の課題を基に、看護総合実習の計画立案ができる。 3. 看護総合実習の成果を基に、テーマに沿ってレポートを作成し、看護及び専門領域を探求する。 4. 発表要約をもとに、グループ間で発表を行い、意見交換ができる
理想的レベル	1. 関心ある領域における知識・技術を積極的・主体的に深めるとともに、自己の課題について、グループ間で討議・検討し、広い視野から考えることができる。 2. 課題を基にした看護総合実習の計画立案では、関連する文献を読み込み、根拠に基づく実践を志向することができる。 3. レポート作成においては、看護総合実習の成果を基に、可能な限り先行研究を調べ、検討し、客観的・科学的に看護・教育を考察する。 4. 発表要約を作成し、わかりやすく効果的な発表を行い、積極的に意見交換を行うことができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	60%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	
レポート外の提出物	20%	
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU31407J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
学生が主体的に課題を探索し学習する。	1

授業計画	
第 1 回	1. オリエンテーション（各担当教員） 演習の概要について説明し、その履修方法や演習の目的、達成の目安、評価の内容と方法を説明する。

	2. 看護総合演習は看護総合実習の事前事後演習として位置づけ、看護総合実習に向けて学生個々の課題（事例）を明確にする。学生は既習の専門知識の整理・統合を図りながら、課題（事例）への適切な介入および必要な看護技術について、確認し熟達を図る。 3. 課題（事例）解決に向けて、看護総合実習の実習計画書を立案する。 4. 看護総合実習の成果を基に、レポートを作成する。グループ間で発表を行い、意見交換し、看護総合実習における実践を考察する。
テキスト	指定なし。必要に応じてプリントを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	課題に応じて主体的に文献を探索する。必要があれば、担当教員が紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	評価については、一連のプロセスにおいて演習に対する各自のテーマ設定や取り組み姿勢も含めて最終評価し、個別にフィードバックします。
学生へのメッセージ・コメント	これまでの臨地実習・演習における看護実践を振り返り、必要な事項は学習しておくこと。 学習活動は、すべて学生が主体的に計画することを原則としています。自ら積極的に学習し、グループ間で課題を共有し、討議・検討を進めていただきたい。 社会に出て活躍できる看護職者としての看護実践能力、人間力を養うために、自己の課題に向き合い、主体的な学習を期待します。